繪ハガキ競技會記事（第二十回）

平和（意匠）　玩具（技術）

一等　田舍の平和　相田　寅彦　太鼓におかめ　小林　華秋
二等　軍帽に鍬　須崎　俊治　獅子頭　牛木　勇
三等　一家團欒　山田　全一　人形　榎本　滋
四等　大佛に烏　小林　華秋　大砲　小林　珠郎
五等　鷄の家族　赤城　泰舒　太鼓にコマ　佐藤　清
六等　海邊の寫生　小林　珠郎　狐と太鼓　須崎　俊治
七等　釣網に小兒　中尾　春雄　羽子板　鵜澤　四丁
八等　稚子の眠り　丸山　廉　犬はりこ　相田　寅彦
九等　小兒に風　吳　文炳　犬はりこ　加藤　柯亭
十等　春の野邊　安齋　健吾　鞠におてだま　堀内　凡水
十一等　武庫に蜘蛛の巢　後藤　百次　おもちゃ箱　野口　六三
十二等　富士　篠原　武重　奴風　篠原　武重
十三等　太平曲　牛木　糸子　福助　後藤　百次
十四等　平和の鐘　牛木　勇　人形　山田　全一
十五等　晩歸　堀内　凡水　犬はりこ　河野　竹子
十六等　弓に蜘蛛の巢　久保　白泉　人形　居初いくよ子
十七等　樺太の切斷　河野　竹子　乘馬人形　兒山　紫燐
十八等　平和の神　磯貝　貞子　人形　小林誠之助
十九等　平和地圖　丹羽光次郎　太鼓　小高つゆ子
二十等　高砂　野口　六三　幻燈　赤城　泰舒

（以下略）

一月二十八日開會、出品者三十六人、出品數百三十七枚、選評の結果上記の如し。

この月は何故か出品少數なりしが、例月よりも佳作多かりしは嬉しきなり、希くは數の多きを貪らずして質のよきものを出品せられたし。さて今回進境の目ざましかりしは相田、須崎、牛木勇の諸氏にして、從來高點を占め來りし野口、吳諸氏の作の振はざりしは惜むべし。兩氏の意匠畫は、着想に於て喜ぶべきも、其描法の稍陳腐になりし嫌あり、更に一段の奮發を望む。

猶當日は本會同人のほか五六の出品者參集、夜に入て簡單なる新年會を催ふし十二時頃散會したりき。

三月課題　蝶（意匠、孤崖氏出題）
若草（技術）

三月二十日〆切
同二十五日開會

■意匠畫『蝶』は從來圖案として廣く用ひらるゝものなれば、有ふれたる意匠を避けて、自己の考案により奇拔なるもの出品せられたく技術『若草』は忠實なる寫生を貴ぶこと例の如し。